



学校通信

# 医生丘小だより

令和5年度 第9号 R5.7.7

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

## 私たちの住む町を美しく 地域清掃ボランティア

◎6月24日(土)、医生丘のまちづくり協議会及び社会福祉協議会、医生丘市民センター、本校父母教師会が連携して、ボランティアによる地域の清掃活動を行いました。

この活動は、日頃清掃できない道路の側溝や通学路周辺のごみを協力して拾い集め、自分たちの住む地域と子どもたちが通う医生丘小学校の周りを美しくすることを目的に実施されたものです。

当日は、医生丘市民センターと医生丘小学校の2か所に分かれて集合し、配布されたごみ袋と軍手を手に、学校と市民センターで準備した清掃道具を使って、朝の9時から10時まで活動しました。

合計で51名もの方が参加していただき、その中には、本校児童15名も加わっていました。ほうきで枯葉を掃き集めたり、歩道周辺の雑草を抜いたり、汗を流しながら約1時間、黙々と作業をしました。

そのお陰で、市民センターと学校の周辺が、ずいぶんすっきりときれいになりました。作業後は大人も子どもも、配られたお茶を飲みながら、充実感に満ちた笑顔があふれていました。



《小学校玄関前に集合》



《学校周辺のごみを集める様子》

まちづくり協議会の水ノ江会長からも、「ぜひ、また秋ごろにやりましょう」と、前向きな言葉をいただきました。自分たちの住んでいる場所を自分たちの手で清めることは、地域への愛着を育むことにつながると思います。医生丘小校区の恒例行事になるとよいですね。

## 即実行!! 掃除がもたらすプラスの効果

○日本の学校では、子どもたちが清掃時間に、教室や廊下、トイレ等を自分たちでそうじするという習慣があります。これは、日本人にとっては馴染みのあることですが、海外では、清掃専門のスタッフが教室等を含め、校内を清掃することが多いようです。

日本に滞在経験のある外国の方からは、「すばらしいシステムだと思う。身の回りのものを丁寧に扱うことを学ぶことができる。自分が掃除するところにゴミなんか捨てないからね。」「学校は、教科の勉強を学ぶだけの場所ではない。掃除をすることは、社会の一員として、自分自身に責任をもつことを学ぶことにもつながる。」と学校での掃除を評価する声が多く寄せられているそうです。

ある教育学の専門家は、掃除を一生懸命にすることにより、5つのよい効果があると語っています。

- ① 「気づく人」になれる
- ② 心を磨くことができる
- ③ 謙虚になることができる
- ④ 感動の心を育むことができる
- ⑤ 感謝の心が芽生えてくる

毎日の清掃活動を通して、集団の一員としての自覚が深まり、責任感が育成されるとともに、自分自身の心が磨かれていく。このように「掃除」のもたらす効果はとても大きいものであり、責任感など基本的な人格形成に必要なことが自然と身に付けることができるのです。

昨年、サッカーのワールドカップでは、日本人サポーターが試合後の客席でゴミを拾う様子が世界で話題になりました。今や各国

のサポーターに普及しています。「なぜ日本のファンは清掃をするのですか?」と質問した外国人記者に、一人のファンは「使う前より使った後を綺麗にすることは当たり前。いつも感謝の気持ちをもつことを習っています」と答えたそうです。その言葉の意味を知ったこの記者は「Atarimae(あたりまえ)は史上最高の言葉ですね」と感銘を受けたとのこと。これからも、大切にしたい心構えですね。

## 元気いっぱい!! 1年生：本城西公園へレッツゴー！

○6月28日(水)、梅雨空のわずかな晴れ間が見られたタイミングを逃さず、1年生は生活科の学習で本城西公園へ出かけました。5月の歓迎遠足の時には、6年生に手を引いて連れて行ってもらった公園でしたが、今回は、1年生だけで2人組を作り、交通ルールを守って、仲良くお出かけすることができました。

公園につくと、担任の安部先生からの注意をよく聞いて、広場や遊具で元気に楽しく遊びました。鬼ごっこをしたり、滑り台を滑ったり、鉄棒で逆上がりにチャレンジしたり、虫を捕まえたり・・・汗だくになりながら、みんな笑顔で思い思いに楽しいひと時を過ごしました。

帰りは、学校の西門に到着する間に雨が降り出して、大急ぎで教室に戻りました。先生の注意をしっかり守って、安全に行動することができた1年生。入学してから今日までの成長ぶりに感心しました。



## 大雨が続く梅雨時期 水の事故に注意

○令和5年5月31日(水)の17時20分頃、小倉北区の板櫃川で川に落ちたボールを拾おうとした小学生が転落し、流されるという事案が発生しました。幸いにも近くにいた大人が救助し、大事には至りませんでした。

先週から、大雨による注意喚起が立て続けに出され、ご心配をおかけしていますが、梅雨はまだ明けそうにありません。今後も河川の増水や川遊び等による、河川水難事故発生の危険が高まることが予想されます。

今一度、安全確保に向けて、下記の内容について児童に注意を呼び掛けてまいります。ご家庭でもお声をかけをよろしくお願いいたします。

- 1 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばないこと。
- 2 河川に行く際は、大人と一緒にいき、子どもだけでは絶対に遊びに行かないこと。
- 3 大雨時に川遊びや魚釣り等は絶対にしないこと。
- 4 雨が降ってなくても、河川が増水している場合があるので近づかないこと。
- 5 川の様子が悪化する前兆(山鳴り・増水、水の濁り、流木・減水・腐った土や火薬のようなにおい等)があれば、避難すること。
- 6 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
- 7 校区内や近隣の危険な河川・池・沼・貯水池等には、近づかないこと。

### 個人懇談会について

○来週7月13日(木)14日(金)に、個人懇談会を行います。本校では、今年度から2学期制となったため、『あゆみ』に基づいてお話するのではなく、日頃の学校生活の様子やお子様の頑張り、夏季休業期間中に力を入れてほしい学習内容等について、お話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、Tetoruでお知らせした通り、下校時間は13時30分頃の予定です。

### 短冊に願いを込めて今日は七夕

○7月7日は、天の川を隔てて離れ離れになっている織姫と彦星が年に一度出会える七夕の日です。五節句の一つでもあり、中国の言い伝えと日本古来の豊作祈願のお祭りが一体化して現在の形になったと言われております。本校でも、子どもたちが短冊に思い思いの願い事を書いて、切り紙細工の飾りとともに笹の葉に飾りつけをしています。家族のことや友達のことを思う優しい気持ちがたくさん見られます。ご家庭でも、今夜は七夕についてお話されてみてください。